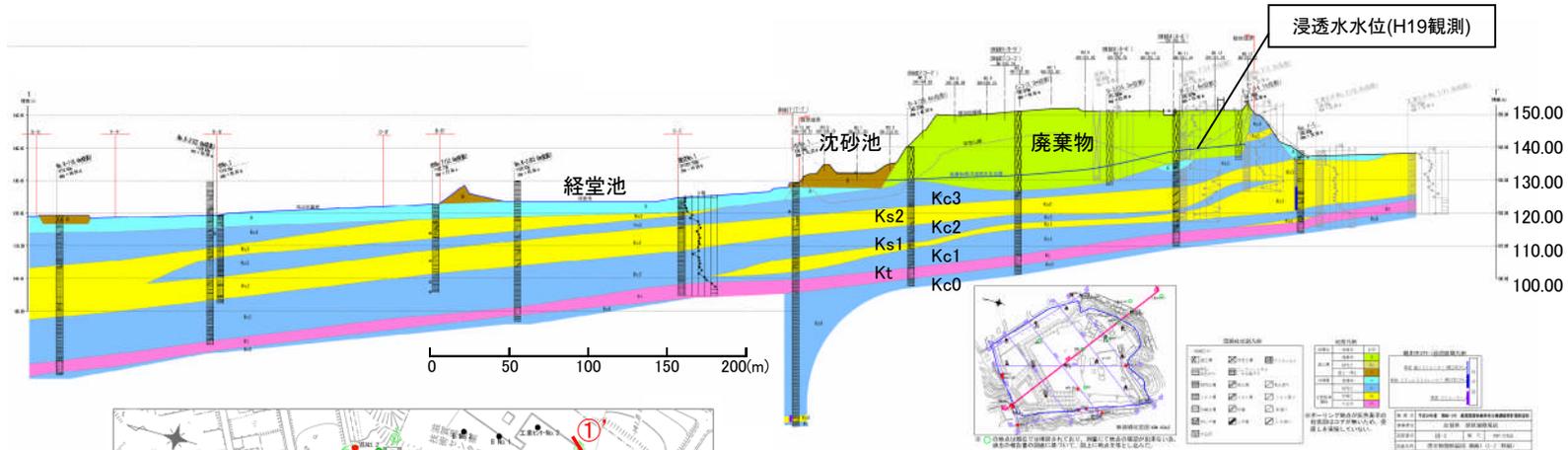
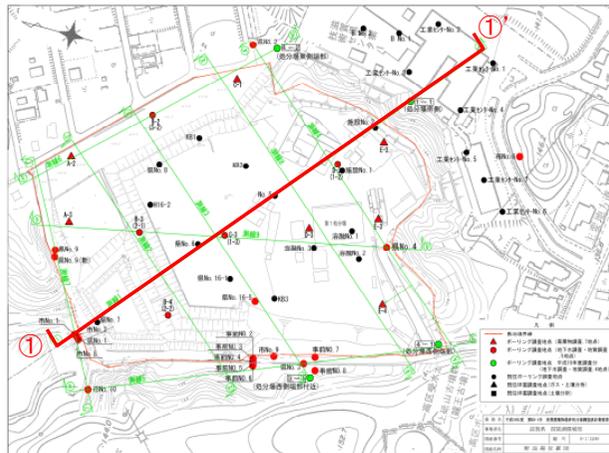


処分場および周辺の地質状況



地質断面図(1-1'断面:北西—南東)



透水係数

地点番号	層相名	透水係数(k) (cm/sec)
県No.1	砂・砂礫層(Ks2)	7.93×10^{-4}
県No.2	砂・砂礫層(Ks2)	1.66×10^{-3}
市No.3	砂・砂礫層(Ks2)	2.59×10^{-3}
市No.7	砂・砂礫層(Ks2)	5.10×10^{-4}
市No.8	砂・砂礫層(Ks2)	6.02×10^{-3}
No.3-1	粘土・シルト層(Kc2)	1.96×10^{-9}
No.4-2	粘土・シルト層(Kc2)	4.42×10^{-7}
B-2	粘土・シルト層(Kc1)	5.6×10^{-9}
	火山灰(Kt)	1.1×10^{-6}
C-3	粘土・シルト層(Kc0)	3.3×10^{-6}
	粘土・シルト層(Kc1)	6.0×10^{-9}
D-2	火山灰(Kt)	2.2×10^{-7}
	粘土・シルト層(Kc0)	4.0×10^{-9}
	火山灰(Kt)	9.7×10^{-7}

- ・処分場およびその周辺の地質は古琵琶湖層群の砂と粘土の互層構成であることが確認された。
- ・砂層や粘土層は、それぞれ帯水層や難透水層を形成しており、これらの地層は琵琶湖岸とほぼ平行な走向をもって、10数度以下の傾斜で琵琶湖方向(北北西～北西)に傾斜している。
- ・Ks1帯水層とKs2帯水層は処分場の南西部の境界付近で1つの帯水層となっており、Ks2帯水層とKs3帯水層は経堂池下流(県K-1付近)において1つの帯水層となっている。